# 第２回バリアフリー施策の新たな枠組みに関する検討会について

令和8年10月
株式会社 赤ちゃん本舗
赤ちゃんのいる暮らし研究所

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# 子育て世帯・妊婦の移動における障壁実態とバリアフリー推進の方向性

当事者調査から見えたハード・ソフト両面の課題と継続的参画モデルの構築

**項目①**
**移動時の具体的障壁**

乗り換え時のバリア

**項目②**
**ハード面・ソフト面の障壁**

ハード不全と利用ためらい

**項目③**
**周囲の理解不足**

優先設備不全と心のバリア

**項目④**
**今後の実現策**

属性別対応と当事者参画

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目①】移動時の具体的障壁

# 「乗り換え」が移動全体の最大のボトルネック

公共交通機関の利用で最も困る点

「乗り換えが大変」

**52%**

## 移動を著しく阻害する「動線の断絶」

**案内・視認性の不足：**
エレベーター位置が不明確で電車に乗り遅れる事態が発生

**長距離の迂回移動：**
ホーム反対側まで遠回りを強いられる構造上の負担

**連続性の欠如：**
単一設備の整備にとどまり乗り換え動線全体が繋がっていない

※appendix p.25参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目②】ハード面・ソフト面の障壁

# ハード面の課題：設備不足・使いにくさ

課題 01

## 基礎設備の不足

**30～32%**

- **授乳・搾乳室：**30～31%が不足と回答（地方）
- **おむつ替え：**32%がスペース不足を指摘（郊外・地方の駅）
- **地域差：**郊外・地方の駅で顕著

課題 02

## 設備の使いにくさ

**48%**

- **狭小個室：**ベビーカーごと入れる個室の不足（地方の駅で48%）
- **低月齢対応不足：**腰座り前の子の置き場所がない
- **利用シーン不適合：**実際の利用シーンに即していない設計

課題 03

## 清潔感の欠如

**47%**

- **郊外・地方の駅：**47%でトイレの清潔感が不足
- **地方都市の主要駅：**36%でトイレの清潔感の欠如が課題
- **衛生環境：**乳幼児連れ・妊婦に深刻な負担

※appendix p.26参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目②】ハード面・ソフト面の障壁

# ソフト面の課題：約8割が感じる公共交通の「利用ためらい」

妊娠中・子ども連れでの公共交通機関利用を
「ためらったり避けたりしたことがある」

**78%**

ためらう最大の理由
「子どもが騒いだり泣いたりするかもしれない」

**81%**

**周囲への迷惑に対する過度な懸念や肩身の狭さが、当事者の外出機会そのものを奪っている**

※appendix p.36,p.38参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目③】周囲の理解不足

# 優先席・優先エレベーターと「心のバリア」の実態

**自由回答（FA）より浮き彫りになった、周囲の配慮・理解不足**

## 1. 優先席/エレベーターの利用上の課題

- **優先利用の困難：**必要とする当事者が優先的に使えない実態
- **無関心な態度：**妊婦が来ても「気づかないフリをする人が多い」
- **不当な指摘：**マタニティマーク着用で着席中に「席を譲るよう言われた」事例

## 2.「見て見ぬふり」と冷ややかな視線

- **周囲からの視線：**車内で子どもが声を出した際に冷ややかな視線を浴びる経験
- **援助の欠如：**困っていても周囲から「見て見ぬふりをされる」孤立感
- **バリアの固定化：**冷淡な反応の蓄積が当事者の心理的バリアをさらに強固に形成

※appendix p.39参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目③】周囲の理解不足

# 利用ルールの明確化と「気兼ねなく利用できる環境」への要望

**対策1**

## 子育て世帯のエレベーター優先利用ルールの明確化・周知

ポスター掲示や構内アナウンス等を通じ、子育て世帯への配慮を明確化したルールを広く周知する取り組みを要望

**対策2**

## 周囲の配慮に頼らずに済む「子育て優先車両・専用スペース」の設置

周囲の視線や譲り合いに依存せず、ベビーカー利用者や乳幼児連れが気兼ねなく乗車できる専用空間の確保を要望

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目④】今後の実現策

# 「一様ではない」多様な当事者属性ごとの課題とニーズ

| 当事者属性 | 主な指標・実態 | 切実な課題・重点ニーズ |
|---|---|---|
| **マタニティ（妊婦）** | **優先席不譲 14%** | 優先席の確保および頻尿・つわりに対応する清潔なトイレ環境 |
| **乳幼児（0～1歳台）** | **基礎ケア・移動動線** | 授乳室・おむつ替えスペースの整備と段差のないベビーカー動線 |
| **幼児（2～3歳台）** | **成長に伴う移行** | 自立を促す「子ども用トイレ」や待機・休憩できる「遊び場」の確保 |
| **父親（男性）** | **男性用設備不足 56%** | 男性トイレ内のおむつ替え設備不足の解消が最大の課題 |

※appendix p.30,p.31,p.33参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目④】今後の実現策

# 地域別の課題：都市部と地方部におけるコントラスト

### 都市部の特徴的課題

## エレベーター混雑と動線の複雑さ

**56%**

**エレベーターの混雑・待ち時間を課題視**

- **容量不足：**利用集中により何回も見送る事態
- **立体迷路化：**複雑な駅構造による乗り換え負担

### 地方部の特徴的課題

## 授乳室・おむつ替え等の基礎設備不足

**30～32%**

**基礎的な子育て支援設備の不足を課題視**

- **未整備駅の存在：**授乳・おむつ替え設備自体の欠如
- **老朽化対応：**トイレの清潔感確保と洋式化・改修

※appendix p.26参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目④】今後の実現策

# 72%が「利用してはじめて不便に気づく」

**「一見使いやすそうでも、実際に使って不便に気づいた」**

**72%**

図面上の設置基準を満たすだけでは実際の利用動線に適合しない

**「子育て世帯の意見が公共サービスに十分反映されている」**

**3%**

当事者の97%が現状の公共サービスへの意見反映を不十分と認識

**従来の事業者・行政基準のみによる整備から、利用者視点を取り入れた検証プロセスへの転換が不可欠**

※appendix p.42,p.43参照

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

【項目④】今後の実現策

# 設計から整備後まで一貫した当事者参画サイクルの確立

**STEP 1：企画・設計段階**

**整備前の当事者意見反映**

妊婦・乳幼児親・父親等の多様な属性が設計レビューに参画

**STEP 2：実証・導入段階**

**実利用シーンでの動線点検**

ベビーカー乗車や乗り換え動線の断絶・死角を実地検証

**STEP 3：運用・評価段階**

**利用者フィードバック収集**

実際に使って気づいた不便（72%）を常時吸い上げる窓口構築

**STEP 4：継続的改善**

**迅速な改修・運用アップデート**

ハード改修と啓発アナウンス等のソフト対策を継続的に実施

**「作って終わり」ではなく、整備後も利用者の声を受け取り継続的に改善する仕組みが今後の要諦**

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

検討会報告資料 総括

# 子育て世帯・妊婦にやさしいバリアフリー社会実現への提言

| | |
|---|---|
| **【項目①】<br>移動環境の整備** | バス車内環境の改善と、「乗り換え動線の断絶」を解消する連続的な案内・設備整備 |
| **【項目②】<br>設備・運用の改善** | 授乳・おむつ替え設備の拡充・トイレ清潔化と、78%が抱える「利用ためらい」を和らげる環境づくり |
| **【項目③】<br>周囲の理解促進** | 優先エレベーター等の適正利用を促す啓発運動と、気兼ねなく乗れる子育て優先車両・専用空間の導入 |
| **【項目④】<br>継続的当事者参画** | 属性別・地域別ニーズを的確に捉え、設計段階から整備後の改修まで当事者意見を継続反映する仕組みの構築 |

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# appendix

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# マタニティ・お子さま連れのバリアフリーについて

-「移動についての困りごと」のアンケートから-

2026年10月2日(金)

赤ちゃんのいる暮らし研究所

中森春奈

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# 調査概要

| | |
|---|---|
| アンケートタイトル | 〈10Pプレゼント〉妊娠中やお子さま連れでの移動中のお困りごとについてのアンケート |
| 対象者 | ・ahアプリ会員 |
| 調査期間 | 2026年9月7日(月)～9月14日(月) |
| 有効回答数 | 2,990件 |
| 調査方法 | webアンケート |
| 調査主体 | 赤ちゃんのいる暮らし研究所 |

※数値は四捨五入のため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# 仮説

・現在整備されているバリアフリーについて、お子さま連れや妊娠中の方が不便を感じているケースがあるのではないか。

・ハード面も大事だが、ソフト面（心理）の改善に注力すべきではないか。

・地域（住んでいる環境）によって困っていること・求められていることが違うのではないか（全国一律の政策では過不足がある）。

⇒・お子さま連れや妊娠中の方も参画した形でのバリアフリー設計が必要（整備前だけでなく整備後にも必要）。

・子育て世帯・妊婦の移動を阻むのは設備不足だけではない。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# 今回の調査から得られた示唆

**①子育て世帯・妊婦の移動を阻むのは、設備不足（ハード面）だけでなく、周囲の理解や配慮の不足（ソフト面）の影響も大きい。**

・公共交通機関の利用をためらう理由の最多は「子どもが騒いだり泣いたりするかもしれない」（81%）。⇒p38

・利用をためらうきっかけは、実体験以上にSNSやニュース等で見聞きしたトラブル事例の影響が大きい。⇒p39

・「エレベーターを優先的に利用できない」は多くの方が改善を望む困りごと。⇒p26-p30

**②周囲への遠慮から消極的な選択を余儀なくされている。**

・混雑する時間を避ける（69%）ベビーカーを使わない（55%）自家用車に切り替える（51%）外出そのものを控える（37%）など、
実際の行動変容につながっている。⇒p37

**③都市部と地方で課題は異なる。**

・都市部の駅はエレベーターの混雑や動線の分かりにくさ、地方の駅では授乳・おむつ替えスペースやトイレ等の設備不足が課題となっており、
全国一律ではなく地域に応じた改善が必要。⇒p26

**④子どもの成長とともに求められる環境は変化する。**

・0～1歳台では授乳室、おむつ替えスペース、ベビーカー移動、2～3歳台では遊び場、お子さま用トイレ、4～6歳台ではトイレ環境、休憩スペースと
必要となるものが異なるため、「子育て世帯向け設備」を一括りにはできず、子どもの成長段階に応じた設計が必要。⇒p33

**⑤利用者視点を取り入れた継続的な改善が求められている。**

・FAでは「実際の利用者に意見を求めて反映してほしい」「子育てしている人の視線で設計してほしい」といった声が見られた。⇒p46

・マタニティ・子育て世帯の意見が公共サービスに十分反映されていると感じる人は3%ときわめて少なく、使ってみて初めて不便さに気づくことも多いことから、
整備前だけでなく、整備後も当事者の声を反映しながら改善していく仕組みが重要。⇒p42、p43

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# 対応策の整理（ピンク：ハード、水色：ソフト）

| | 行動への影響　小 | 行動への影響　大 |
|---|---|---|
| 実行の難易度低 | 写真掲載<br>ノンステップバスの情報提供 | おむつ台の衛生管理<br>トイレの清掃強化<br>バスのベビーカー利用ルールの見直し<br>ベビーカー移動ルートの可視化<br>エレベーター位置の情報提供<br>より影響が大きそう<br>優先席・優先エレベーターの周知<br>マナー啓発 |
| 実行の難易度高 | 混雑状況のリアルタイム配信 | エレベーターの増設<br>授乳室の増設<br>子連れ専用車両の導入 |

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# TOPICS

〈公共交通機関・施設の不〉

**①公共交通機関の中ではバスに不便を感じている人がもっとも多い。**

**②公共交通機関利用時の困りごとは、「乗り換え」とベビーカー利用時の負担に集中している。**

**③都市部の駅ではエレベーターの混雑や分かりにくさ、地方ではトイレやおむつ替え/授乳スペースなどの設備の不足が課題。**

**④駅・商業施設ではエレベーター、公共施設ではトイレ環境に関する不満が中心。**

**⑤改善要望は、乗り換えやエレベーター利用など、公共交通機関における移動負担の軽減に集中している。**

**⑥「乗り換え」や「エレベーター利用」は共通課題、0～1歳台ではベビーカー利用、2歳以降ではトイレ環境への不満が目立つ。**

**⑦妊娠中の方では「優先席を譲ってもらえない」がランクインしており、周囲への配慮に関する改善要望がみられる。**

**⑧父親が利用しづらい場面として、「男性用トイレにおむつ替え設備がない」が男女ともに最多。**

〈情報のバリア〉

**⑨お子さま連れの外出では、設備情報に加えて移動しやすさに関する情報ニーズも高い。**

**⑩子どもの成長に伴い、求める情報は「授乳・おむつ替え環境」から、「遊び場」「お子さま用トイレ」へと変化する。**

**⑪お出かけ前に情報収集を行う人は多い一方、情報の所在や網羅性、最新性に課題がみられる。**

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# TOPICS

〈心理的バリア〉

**⑫95%がお子さま連れで行きづらいと思う場所があり、「お祭り・イベント会場」が最多(67%)。**

**⑬約8割が、周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けたりしたことが「ある」と回答。**

**⑭混雑回避やベビーカー利用を控えることに加え、自家用車への切り替えや外出自体の見送りなど、行動選択を変更している。**

**⑮公共交通の利用を控える理由の約8割は、「子どもが騒いだり泣いたりするかもしれない」という周囲への迷惑に対する懸念。**

**⑯公共交通の利用をためらうきっかけは、実際の経験よりも、SNSやニュースで見聞きするトラブル事例の影響が大きい。**

〈求める改善の方向性〉

**⑰公共交通における周囲の配慮を「十分だと思う」と評価した人は20%にとどまり、肯定的な評価は限定的である。**

**⑱公共交通の利用しやすさ向上には、設備・サービスの改善に加え、周囲の理解や配慮の向上も重要と認識されている。**

**⑲マタニティ・子育て世帯の意見が公共サービスに十分反映されていると感じる人は少ない(3%)。**

**⑳利用者の72%が、「利用してはじめて不便に気づく経験がある」と回答。**

〈FA分析〉

**㉑周囲の理解や配慮不足への声が多く、専用車両/スペースなど、周囲の配慮に頼らず利用できる環境が求められている。**

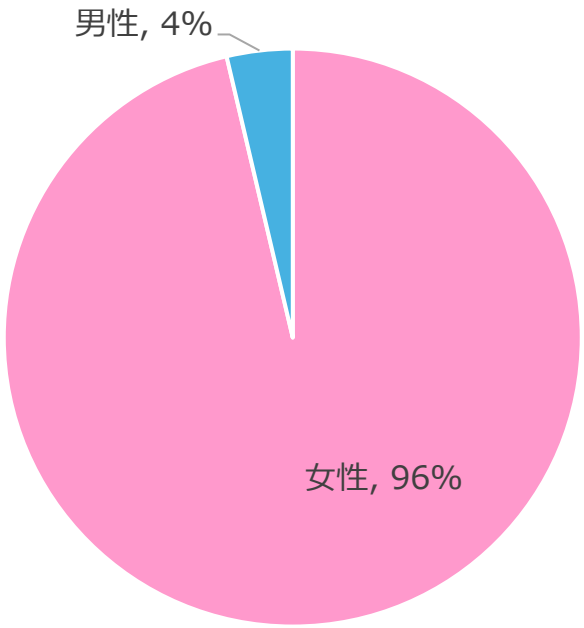
**㉒授乳室やおむつ替え設備の不足に加え、清潔感や使い勝手への不満も多く挙げられた。**

**㉓当事者に必要な情報が分かりやすく提供されることに加え、利用者の声を継続的に反映する仕組みが求められている。**

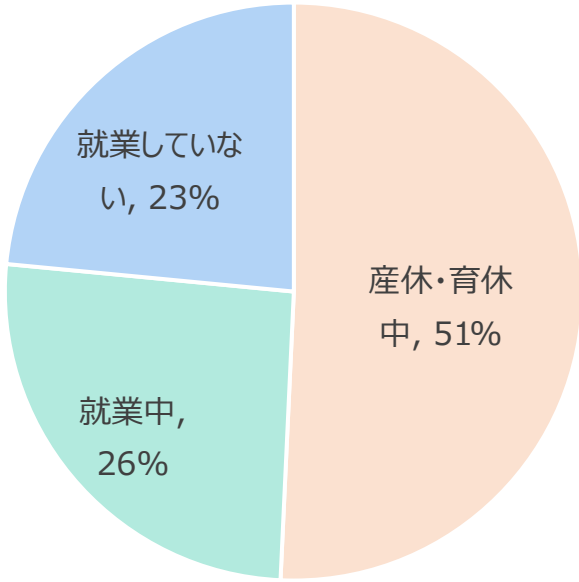
Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

〈回答者プロフィール〉

性別(SA)(n=2,990)




就業状況(SA)(n=2,990)

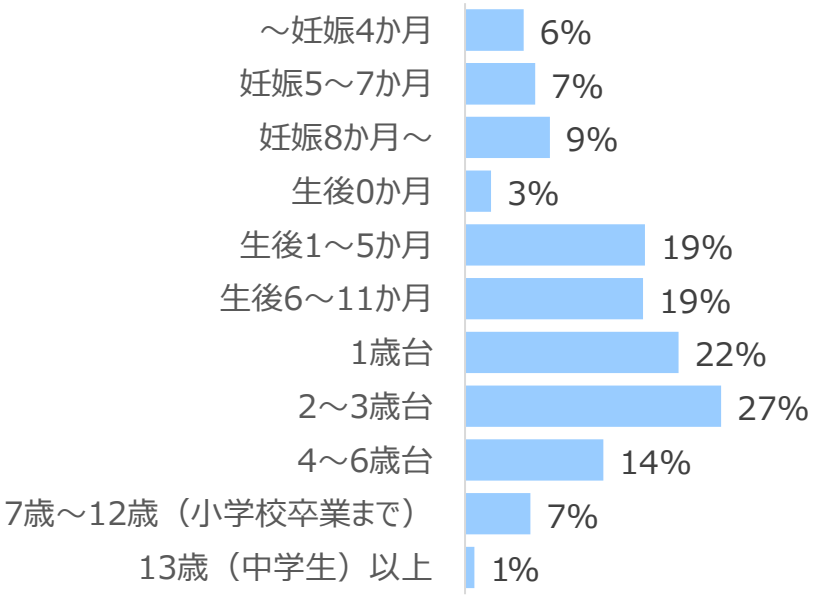



Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

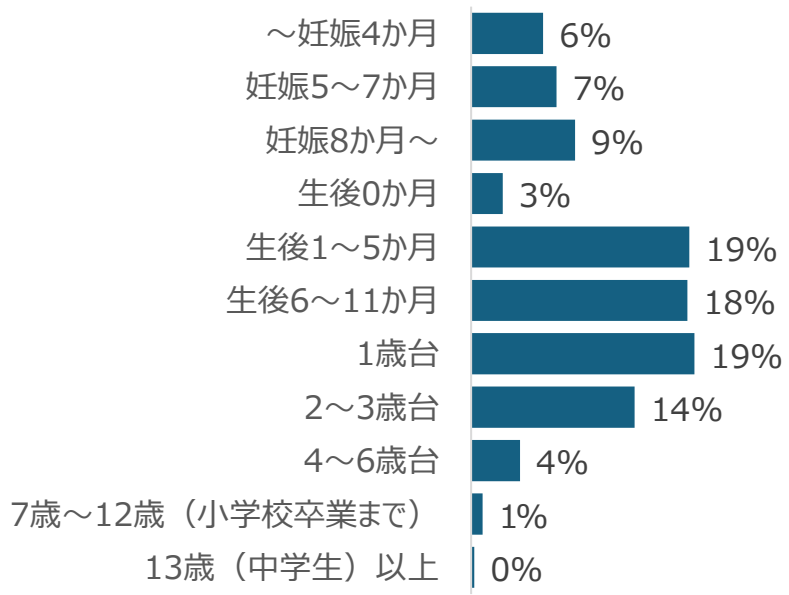
一緒に移動することが多いお子さまの人数(SA)(n=2,990)




いっしょに移動することが多いお子さまの月齢(MA)(n=2,990)

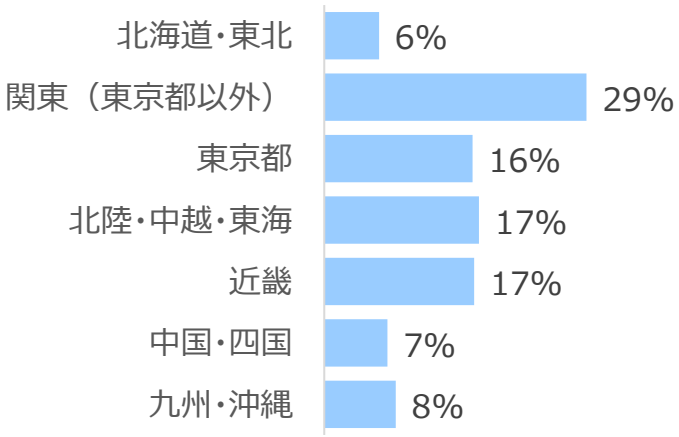



いっしょに移動することが多いお子さまの末子月齢(SA)(n=2,990)

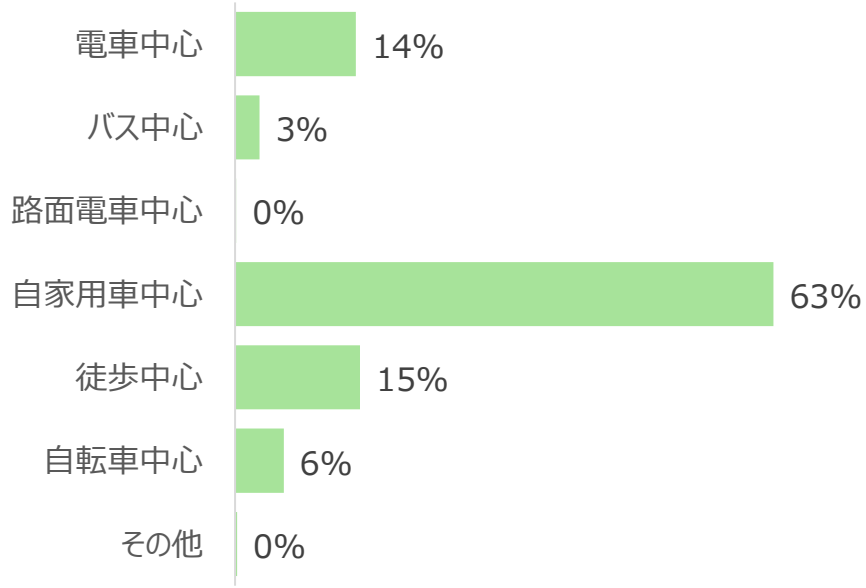



Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

居住地(SA)(n=2,990)




普段の移動手段(SA)(n=2,990)

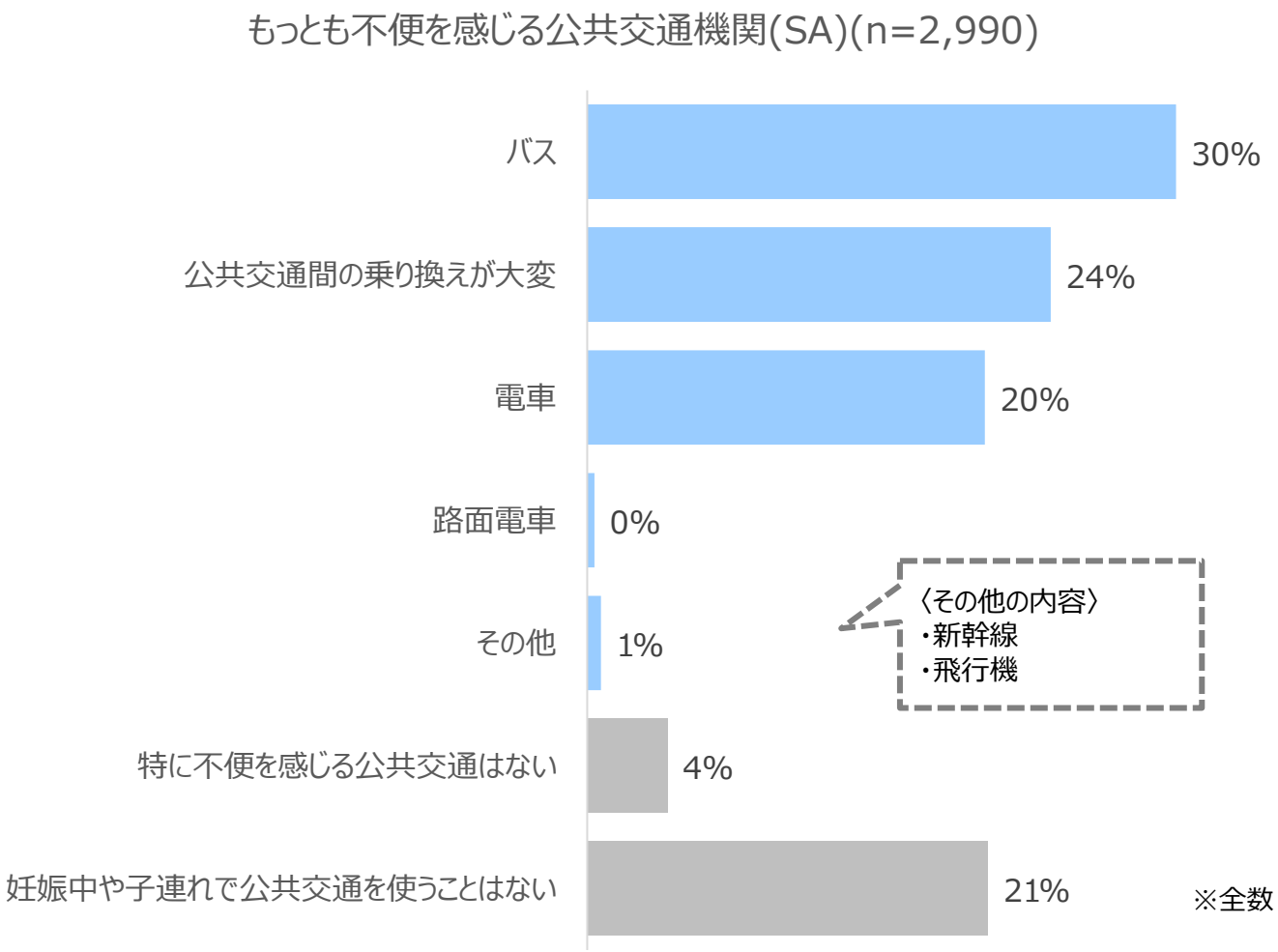



居住地(SA)(n=2,990)




Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ①公共交通機関の中ではバスに不便を感じている人がもっとも多い。




Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ②公共交通機関利用時の困りごとは、「乗り換え」とベビーカー利用時の負担に集中している。

【もっとも不便を感じる公共交通機関別　公共交通機関利用時の困りごと】

| | バス(n=902) | | 電車(n=609) | | 乗り換えが大変(n=710) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | **ベビーカー**があると座席を利用しづらい | 57% | **乗り換え**が大変 | 52% | **乗り換え**が大変 | 81% |
| 2位 | **ベビーカー**を畳まないといけない気がする | 55% | **ベビーカー**があると座席を利用しづらい | 48% | 早く乗り降りしないといけないと焦ってしまう | 47% |
| 3位 | 早く乗り降りしないといけないと焦ってしまう | 47% | 周囲の視線が気になる | 46% | **ベビーカー**があると座席を利用しづらい | 46% |
| 4位 | 周囲の視線が気になる | 44% | 車内のどの場所にいれば迷惑にならないか分からない | 45% | ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 41% |
| 5位 | ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 42% | ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 38% | 車内のどの場所にいれば迷惑にならないか分からない | 40% |

◆「その他(FA)」の内容

〈バス〉

・お腹が大きい時に席に座るのが狭くて大変。

・ノンステップバスかどうかが事前にわからない。

・ベビーカーが必須だが、バスが混んでいた場合、乗ってもよいのか悩む。

・騒いだ時にどうしていいかわからない。電車や地下鉄ならすぐ降りれるけど
バスは降りたらその後が大変だから。

・子供が大声を上げたり癇癪を起こすと電車より不快感示される。

〈電車〉

・子どもがいると歩くのがゆっくりになるので、人混みのペースについていけない。

〈乗り換え〉

・ベビーカーであればエレベーターが必要だが、エレベーターの場所が分かりにくく
乗り換えに時間がかかり、電車に乗り遅れることもある。

・エレベーターが少ない、乗り換えの際に反対側にあったりする。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ③都市部の駅ではエレベーターの混雑や分かりにくさ、地方ではトイレやおむつ替え/授乳スペースなどの設備の不足が課題。

【もっとも不便を感じる駅別　駅についての困りごと】

| | 大都市圏の主要駅(n=315) | | 大都市圏の生活圏駅(n=613) | | 地方都市の主要駅(n=177) | | 郊外・地方の駅(n=190) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | **エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 56% | **エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 43% | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 36% | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 48% |
| 2位 | **エレベーター**が不便な位置にある | 46% | **エレベーター**が不便な位置にある | 40% | **トイレ**に清潔感がない | 36% | **トイレ**に清潔感がない | 47% |
| 3位 | **エレベーター**の位置が分かりにくい | 43% | **トイレ**に清潔感がない | 34% | 段差がある/多い | 36% | **おむつ替えスペース**がない | 32% |
| 4位 | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 29% | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 34% | **授乳・搾乳スペース**がない | 30% | 段差がある/多い | 31% |
| 5位 | 段差がある/多い | 27% | **授乳・搾乳スペース**がない | 28% | **エレベーター**が不便な位置にある | 28% | **授乳・搾乳スペース**がない | 31% |

◆「その他(FA)」の内容

・キャリーケースを持っている人も多く他の駅に比べてエレベーターの待ち人数が多いにも関わらず、エレベーターがホームに1つしかない。（東京駅/上野東京ライン）

・地下鉄で地上と改札階にいくのにエスカレーターやエレベーターの位置がわからない。（地下鉄・武蔵野線）

・エレベーターを本当に必要とされてる方ではなさそうな人がエレベーターを使う場面に遭遇することが多く、順番が来たとしてもスペースが空いておらずベビーカーだとエレベーターに乗れずに諦めてエスカレーターに行くことも多々あります。高齢者の方に「自分が先だ」と言われて押し退けて先に乗られたことも何回もあります。（浜松町駅、飯田橋駅）

・改札を一旦でてから近くの商業施設などにいかないと授乳やおむつ替えする場所がない。（所沢駅/西武池袋線）

・都内の主要駅構内全般。混雑しすぎて身の危険を感じる。

・怖くて行けず、利用したことがない。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ④駅・商業施設ではエレベーター、公共施設ではトイレ環境に関する不満が中心。

【駅・商業施設・公共施設についての困りごと(n=2,990)】

※全数

| | 駅 | | 商業施設 | | 公共施設 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | **エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 35% | **エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 39% | 不便を感じる公共施設はない | 27% |
| 2位 | **トイレ**に清潔感がない | 32% | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 20% | **トイレ**に清潔感がない | 24% |
| 3位 | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 32% | キッズスペース/コーナーが混雑している | 20% | **トイレ**が狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 22% |
| 4位 | **エレベーター**が不便な位置にある | 31% | おむつ替え台の近くに荷物置きやベビーカーを置くスペースがない | 17% | **エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 17% |
| 5位 | **エレベーター**の位置が分かりにくい | 26% | キッズスペース/コーナーがない | 17% | おむつ替えスペースに清潔感がない | 14% |

◆「その他(FA)」の内容

〈商業施設〉

・授乳室が暑い。

・ミルク用のお湯がない。

・キッズスペースを対象年齢より大きい子供が利用していることがあり不安を感じる。

・ベビーカーごと入れるトイレが少ない。

・旅行や帰省で普段行かない施設だと、授乳室や小児用トイレ等の場所が分かりにくい。

〈公共施設〉

・市役所まで電車とバスを乗り継いで、すごく時間がかかるので、ひとりで気軽に行けない。

・駐車場の幅が狭く、子供の乗せ降ろしがしづらい。

・役所の待ち時間が長く子どもが待てない。

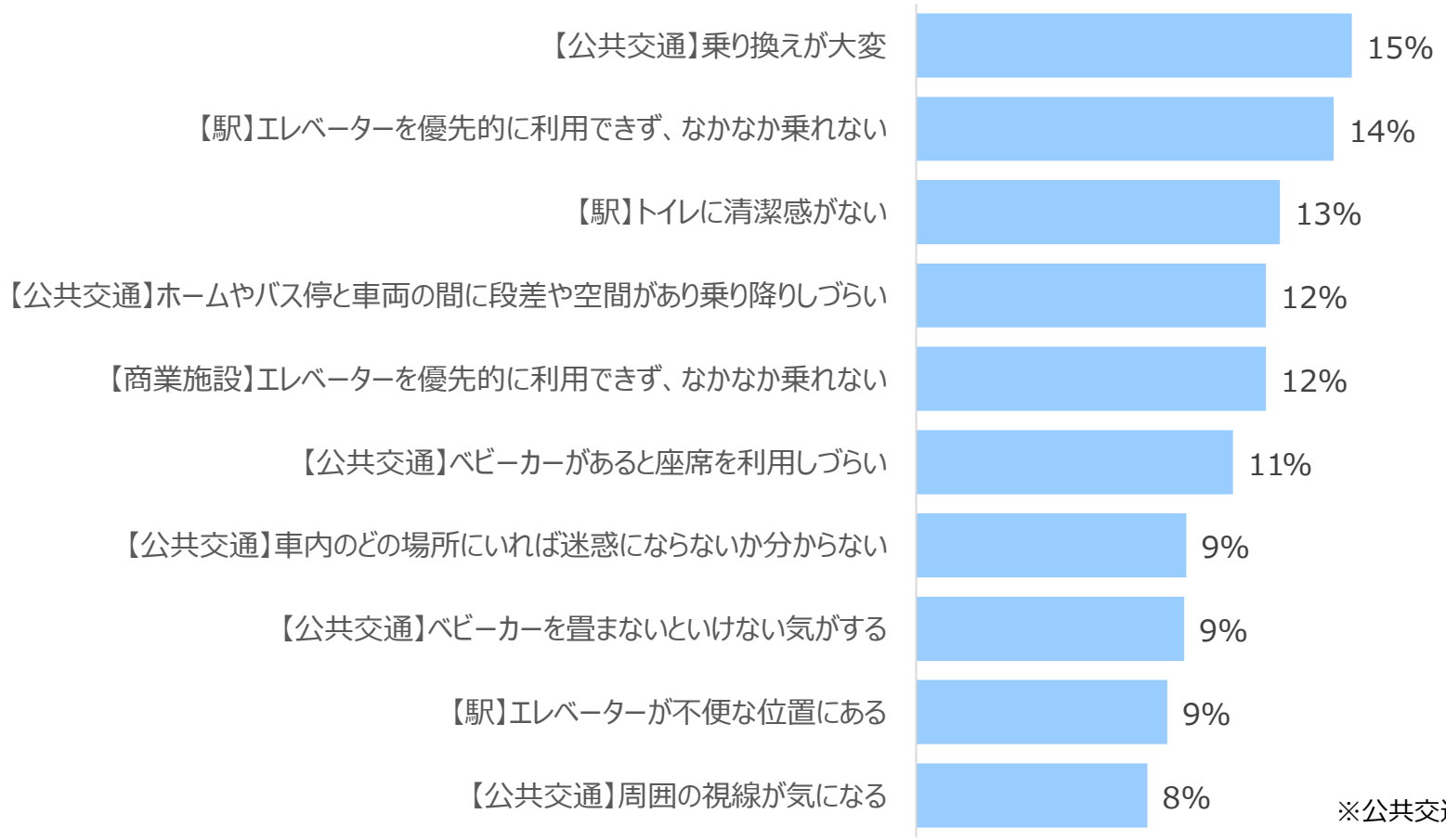
・おむつのゴミ箱がない。

・男性トイレにおむつ替えスペースがない。ベビーカーと一緒に入れるトイレが少ない。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑤改善要望は、乗り換えやエレベーター利用など、公共交通機関における移動負担の軽減に集中している。

改善を望む困りごとトップ10（1人3つまで選択）(n=2,915)




※公共交通機関、駅、商業施設、公共施設のどれかには困りごとがある人

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑥「乗り換え」や「エレベーター利用」は共通課題、0～1歳台ではベビーカー利用、2歳以降ではトイレ環境への不満が目立つ。

〇どの月齢でも、駅と公共交通機関の項目が上位となった（商業施設は末子6か月～1歳台のエレベーターの件のみ）。
お子さまとの移動でのストレスが多いことが分かる。

【末子月齢別　特に改善を求める困りごと（３つまで選択）】

| | 末子0～５か月(n=621) | | 末子6か月～１歳台(n=1,096) | | 末子2～3歳台(n=405) | | 末子4～6歳台(n=122) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | 【駅】**エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 14% | 【駅】**エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 16% | 【駅】**エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 16% | 【公共交通】乗り換えが大変 | 21% |
| ２位 | 【公共交通】乗り換えが大変 | 14% | 【公共交通】乗り換えが大変 | 14% | 【公共交通】乗り換えが大変 | 16% | 【駅】トイレに清潔感がない | 21% |
| ３位 | 【公共交通】ベビーカーを畳まないといけない気がする | 13% | 【公共交通】ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 14% | 【駅】トイレに清潔感がない | 14% | 【駅】トイレが狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 16% |
| ４位 | 【駅】トイレに清潔感がない | 12% | 【商業施設】エレベーターを優先的に利用できず、なかなか乗れない | 13% | 【公共交通】ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 12% | 【駅】**エレベーター**を優先的に利用できず、なかなか乗れない | 11% |
| ５位 | 【公共交通】ホームやバス停と車両の間に段差や空間があり乗り降りしづらい | 12% | 【公共交通】ベビーカーがあると座席を利用しづらい | 12% | 【駅】トイレが狭く、子どもと一緒に利用しづらい | 11% | 【公共交通】手がふさがった状態でパスやお金をださないといけない | 9% |

※公共交通機関、駅、商業施設、公共施設のどれかには困りごとがある人

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑦妊娠中の方では「優先席を譲ってもらえない」がランクインしており、周囲への配慮に関する改善要望がみられる。

○「トイレに清潔感がない」の選択率が最も高く（18%）、妊娠中はつわりや頻尿などによりトイレを利用する機会が増えるため、トイレ環境への不満が表れた可能性がある。

○「乗り換えが大変」「エレベーターを優先的に利用できない」はどの月齢とも共通する大きな不となっていることが分かる。

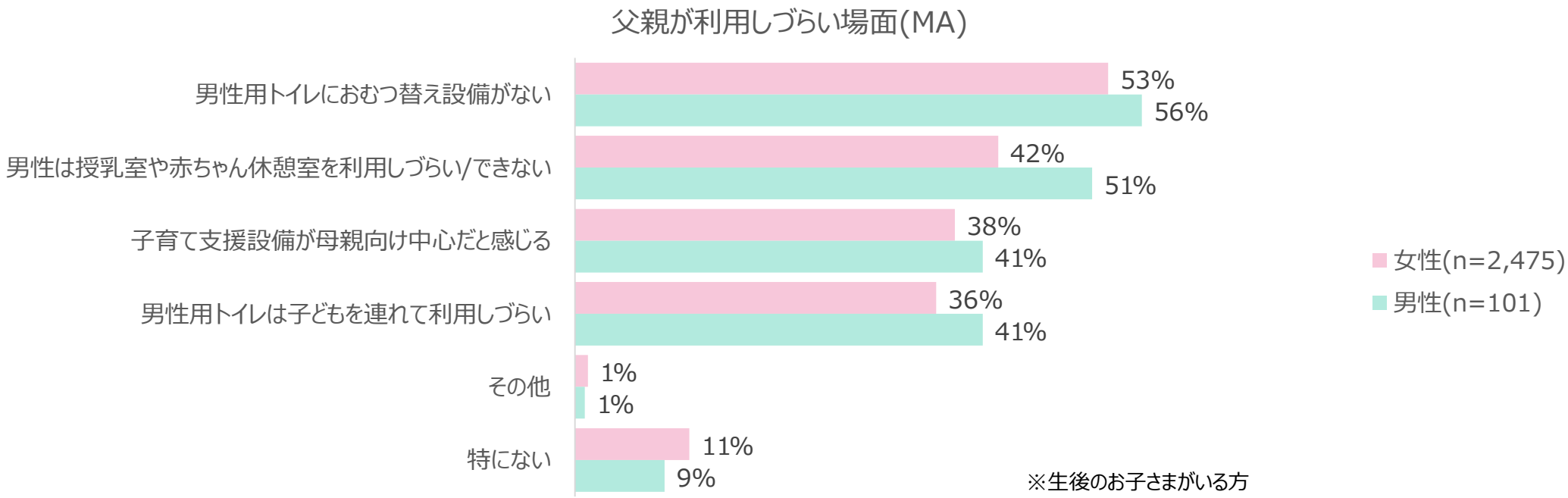
【特に改善を求める困りごと（３つまで選択）】

| | 1人目を妊娠中(n=385) | |
|---|---|---|
| 1位 | 【駅】トイレに清潔感がない | 18% |
| ２位 | 【公共交通】乗り換えが大変 | 15% |
| **３位** | **【公共交通】優先席を譲ってもらえない** | **14%** |
| ４位 | 【駅】エレベーターを優先的に利用できず、なかなか乗れない | 12% |
| **５位** | **【公共交通】車内のどの場所にいれば迷惑にならないか分からない** | **10%** |

※公共交通機関、駅、商業施設、公共施設のどれかには困りごとがある人

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑧父親が利用しづらい場面として、「男性用トイレにおむつ替え設備がない」が男女ともに最多。




◆「その他(FA)」の内容

・男性用トイレにおむつ交換台がついていても変質者などがいそうで安心して利用できない。オムツ交換台は男女トイレとは別にあるべき。

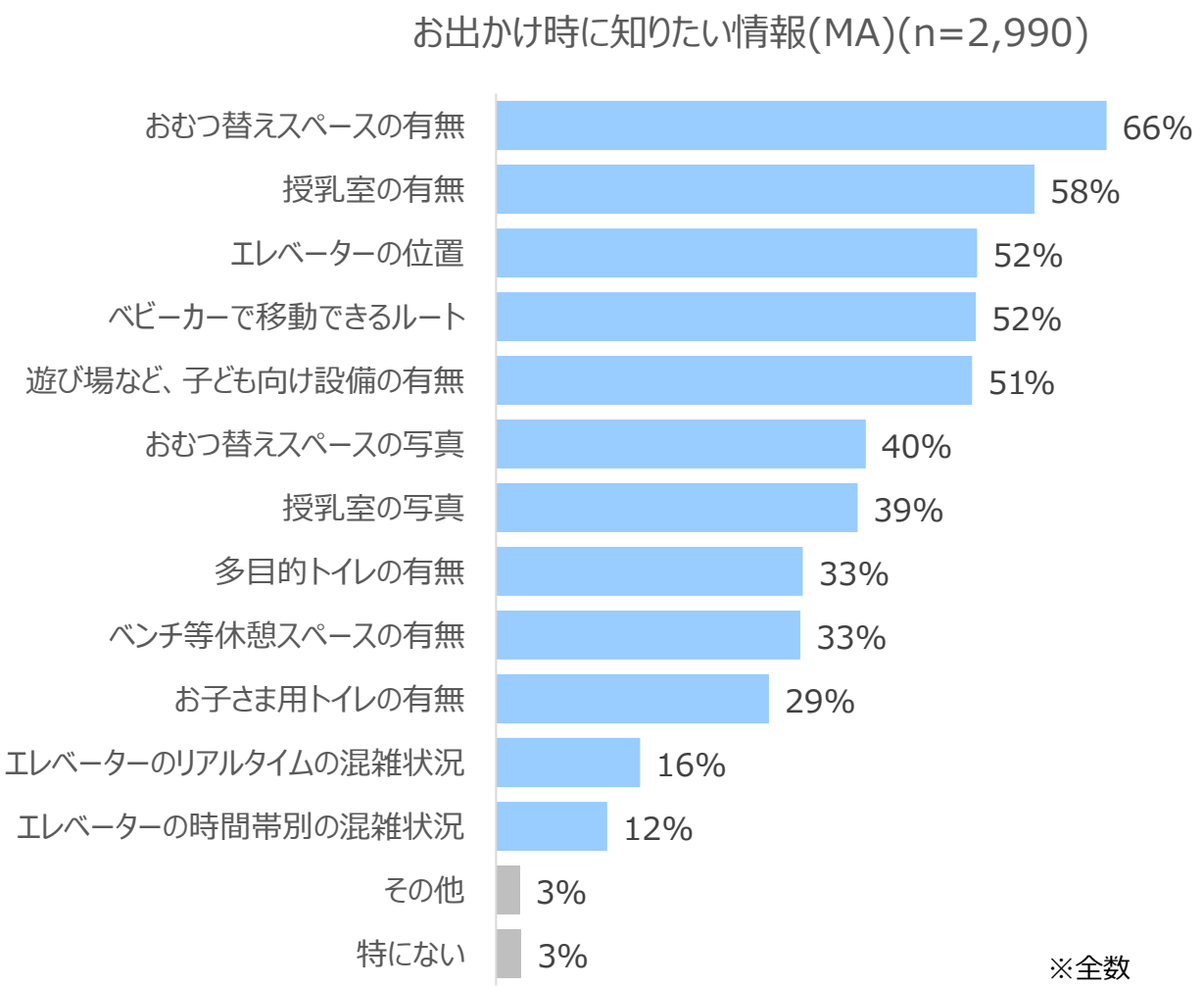
・成人男性の視線から女児を守れる環境。

・子育て施設の設備だけでなくイベント系も名称が母親向け中心だと感じる。

・両親2人でオムツ替えなどをしたい時が困る。ママは搾乳、パパはミルクをあげるってなると同じ部屋にいた方が楽。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ⑨お子さま連れの外出では、設備情報に加えて移動しやすさに関する情報ニーズも高い。




※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑩子どもの成長に伴い、求める情報は「授乳・おむつ替え環境」から、「遊び場」「お子さま用トイレ」へと変化する。

【末子月齢別　お子さまとのお出かけの時に知りたい情報(MA)】

| | 末子0～５か月(n=621) | | 末子6か月～１歳台(n=1,096) | | 末子2～3歳台(n=405) | | 末子4～6歳台(n=122) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | **授乳室**の有無 | 75% | **おむつ替えスペース**の有無 | 69% | **遊び場**など、子ども向け設備の有無 | 65% | **お子さま用トイレ**の有無 | 57% |
| ２位 | **おむつ替えスペース**の有無 | 72% | **授乳室**の有無 | 60% | **おむつ替えスペース**の有無 | 64% | **遊び場**など、子ども向け設備の有無 | 56% |
| ３位 | ベビーカーで移動できるルート | 56% | **遊び場**など、子ども向け設備の有無 | 59% | **お子さま用トイレ**の有無 | 51% | ベンチ等休憩スペースの有無 | 40% |
| ４位 | エレベーターの位置 | 53% | ベビーカーで移動できるルート | 56% | ベビーカーで移動できるルート | 46% | エレベーターの位置 | 39% |
| ５位 | **授乳室**の写真 | 50% | エレベーターの位置 | 55% | エレベーターの位置 | 46% | **おむつ替えスペース**の有無 | 31% |

◆「その他(FA)」の内容

・授乳室内の冷暖房の有無。

・ベビースケールやお湯のサービスの有無。

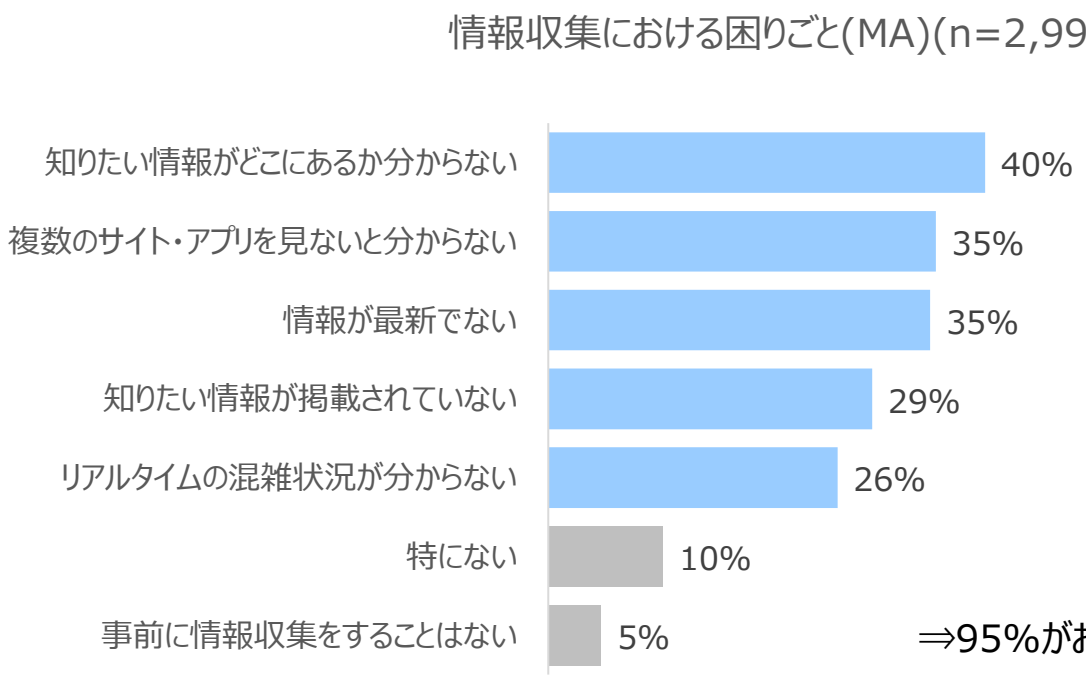
・電車でどの位置にベビーカーが乗せられる場所があるかホーム床に書いてほしい。

・ベビーカーで入れるトイレの個室がどのフロアのどこにあるのか。

・駅のエレベーター点検情報。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ⑪お出かけ前に情報収集を行う人は多い一方、情報の所在や網羅性、最新性に課題がみられる。

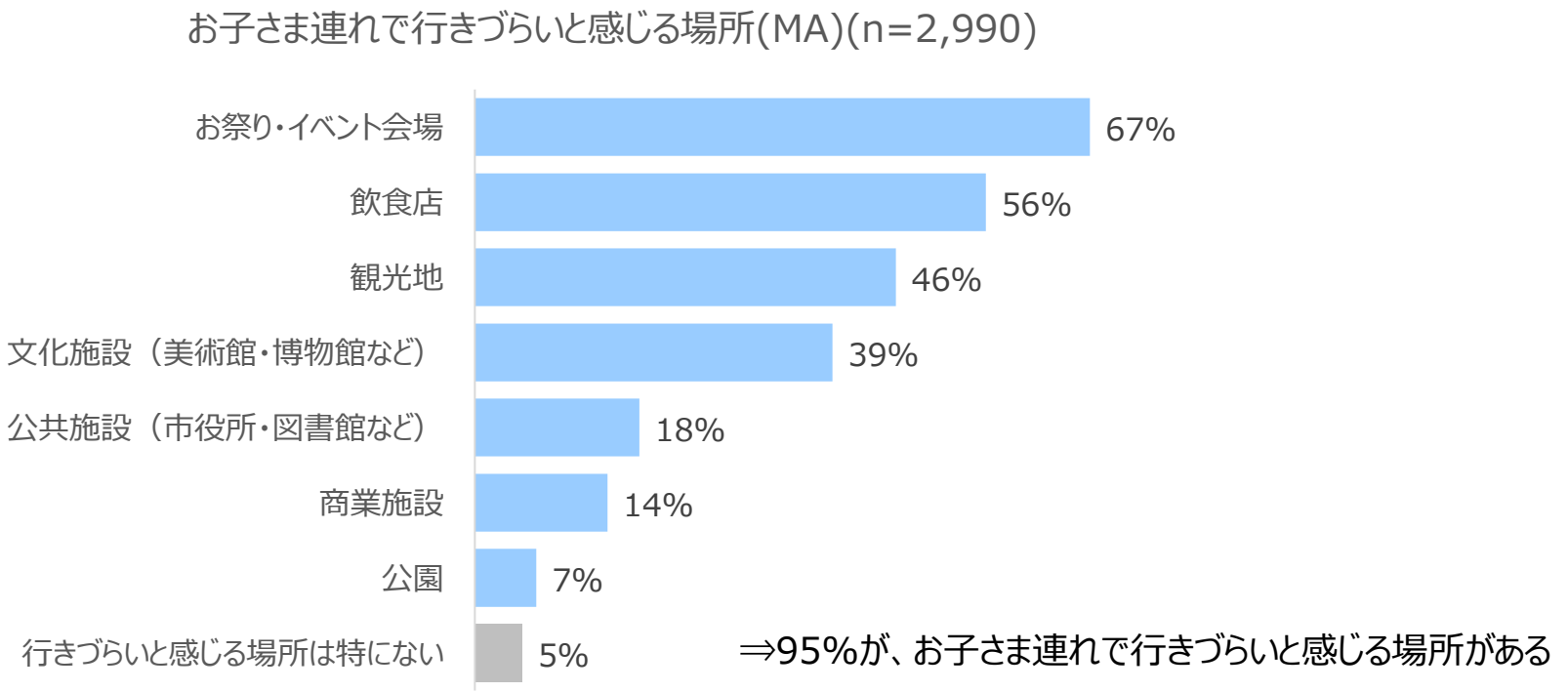



⇒95%がお出かけ前に情報収集をしている。

※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑫95%がお子さま連れで行きづらいと思う場所があり、「お祭り・イベント会場」が最多(67%)。



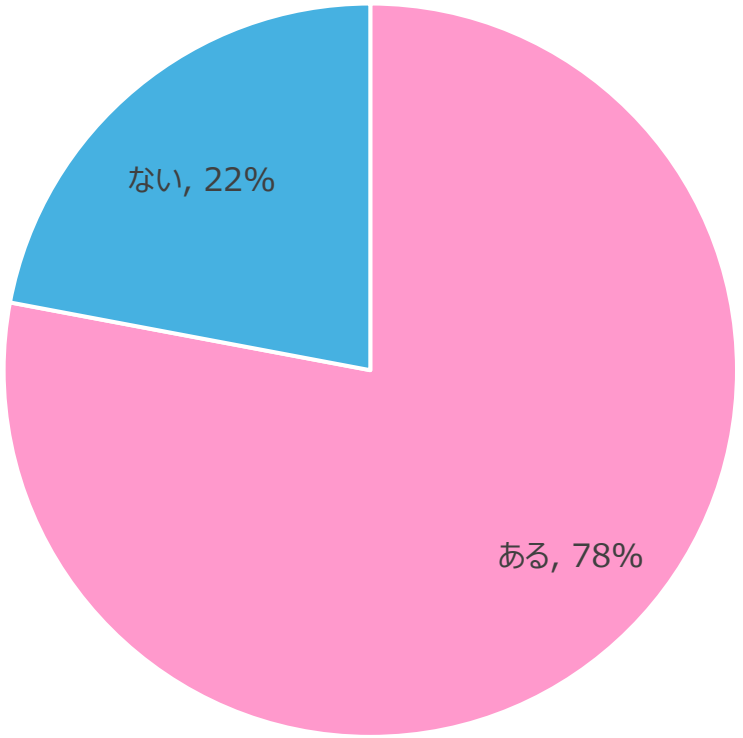

⇒95%が、お子さま連れで行きづらいと感じる場所がある

※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑬約8割が、周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けたりしたことが「ある」と回答。

周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けた経験の有無
(SA)(n=2,990)

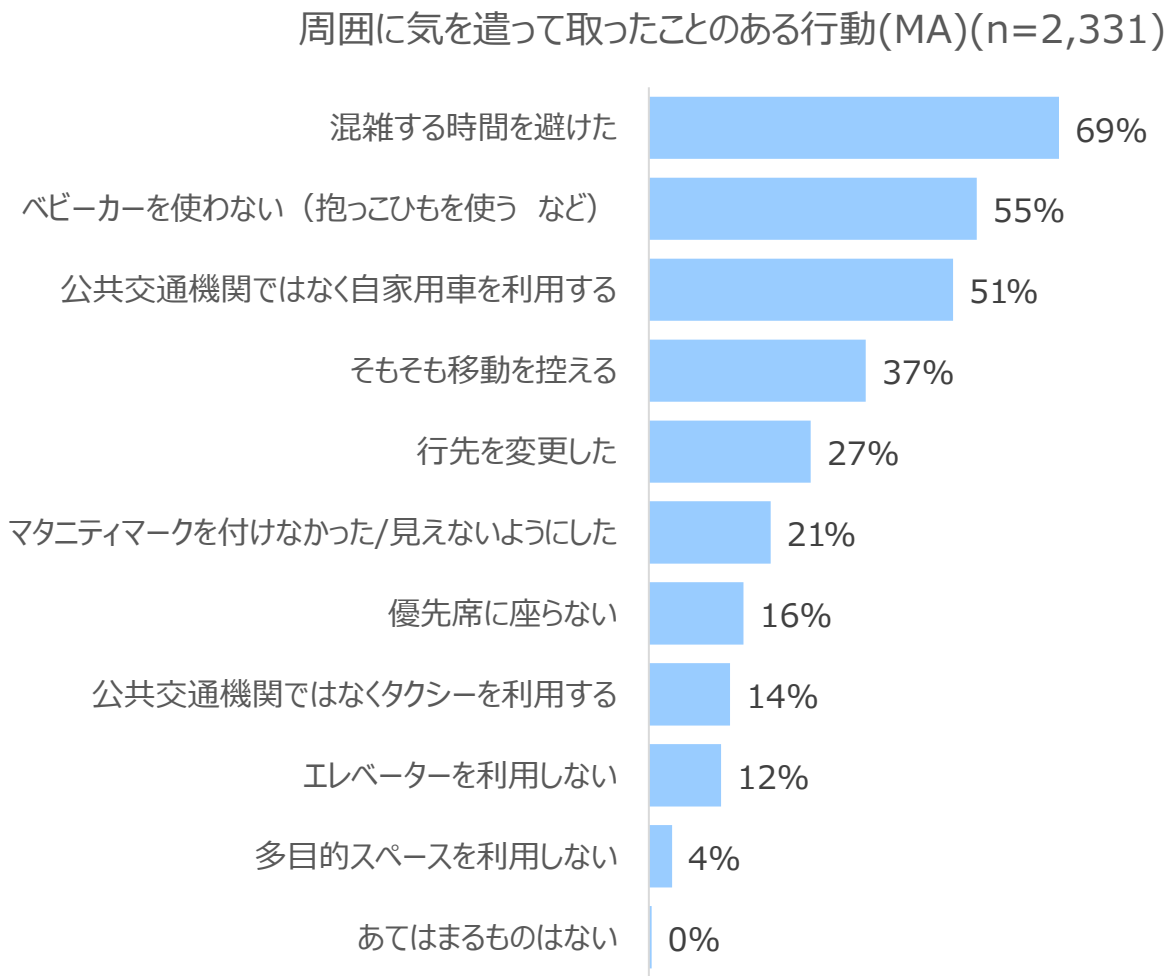


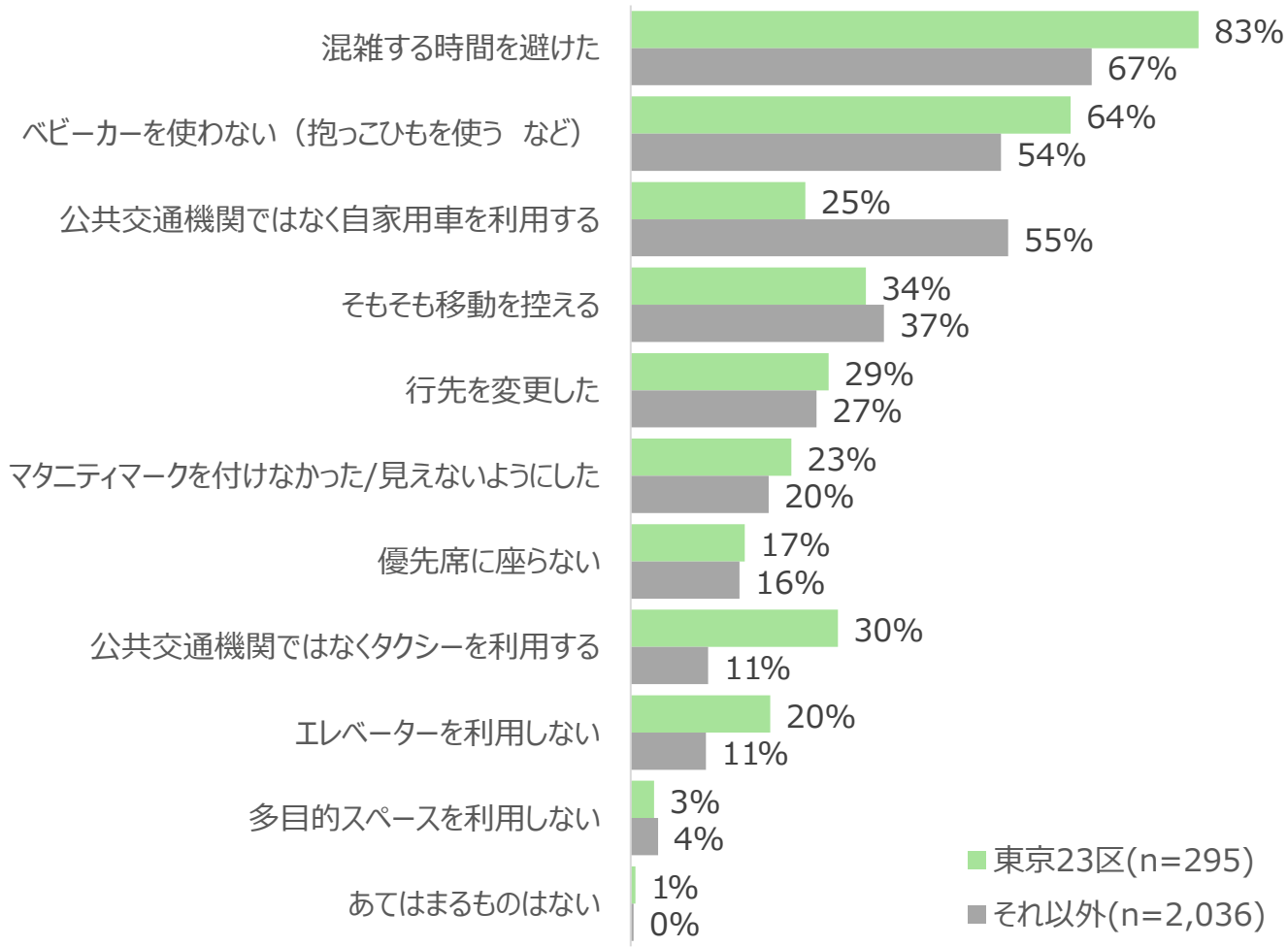

※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ⑭混雑回避やベビーカー利用を控えることに加え、自家用車への切り替えや外出自体の見送りなど、行動選択を変更している。

〇混雑回避は東京23区では83%の人が行っており、お子さま連れにとって混雑が大きな課題であることが分かる。

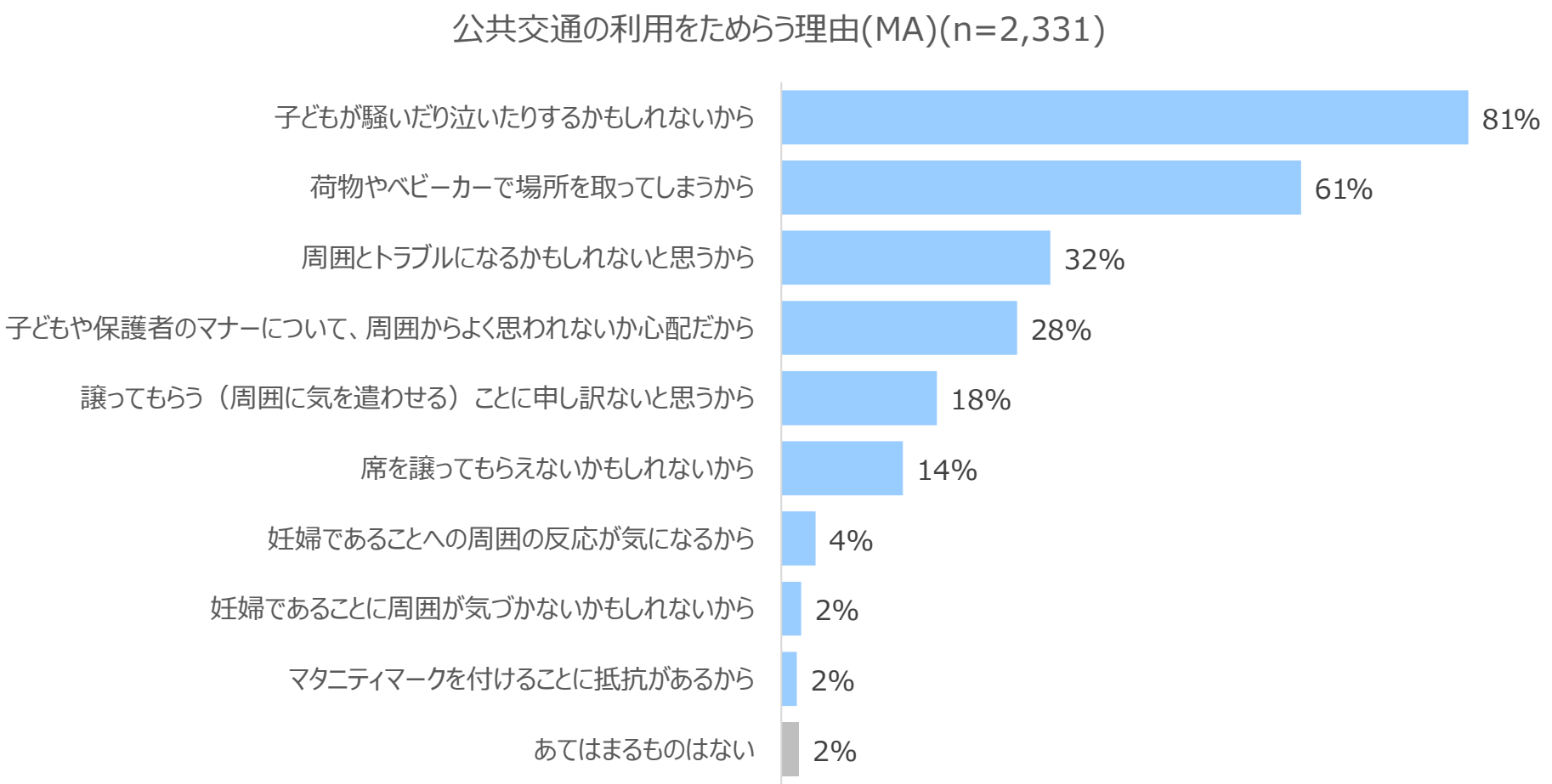



※周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けたりしたことが「ある」と回答した人

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ⑮公共交通の利用を控える理由の約8割は、「子どもが騒いだり泣いたりするかもしれない」という周囲への迷惑に対する懸念。

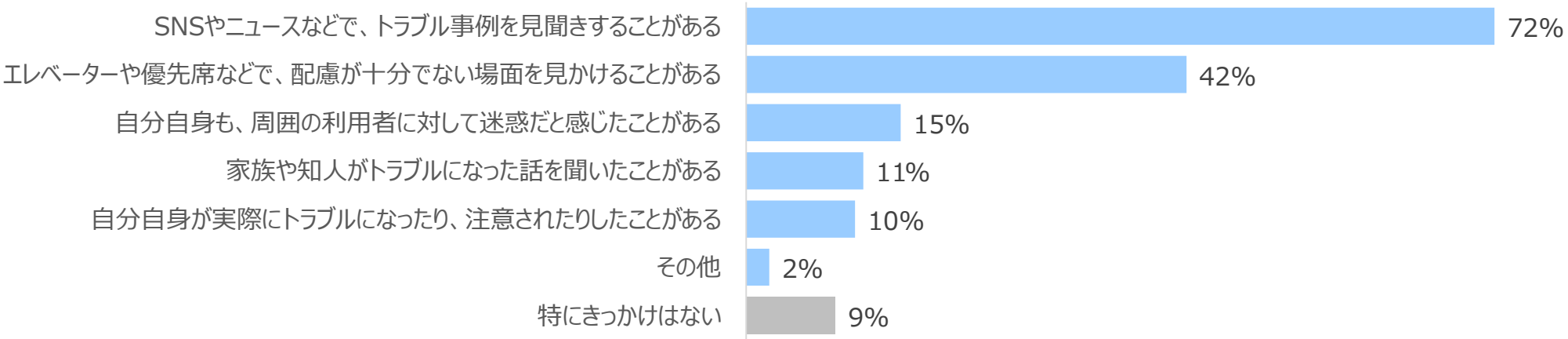



※周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けたりしたことが「ある」と回答した人

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

# ⑯公共交通の利用をためらうきっかけは、実際の経験よりも、SNSやニュースで見聞きするトラブル事例の影響が大きい。

公共交通の利用をためらうきっかけ(MA)(n=2,282)




※周囲に気を遣い、妊娠中やお子さま連れでの公共交通の利用をためらったり避けたりする理由として「あてはまるものはない」以外を選択した人

◆「その他(FA)」の内容

・以前、優先席の前に立っただけで罵声を浴びせられた事があるから。
・電車の優先席付近で睨み付けられたりため息をつかれる。
・駅構内でわざとベビーカーにぶつかってこようとする男性に遭遇した経験がある。
・周囲が迷惑だと思っていなくても、迷惑をかけるかもしれないということへの心理的ハードルの高さ。
・迷惑だと思う人がいるのではと自分で感じてしまうから。
・実際にマタニティマークをつけていてバスで席を譲ってもらえたことがなかったから。
・マタニティマークを付けて優先席に座っていたら、高齢の方に席を譲るように言われたことがあります。

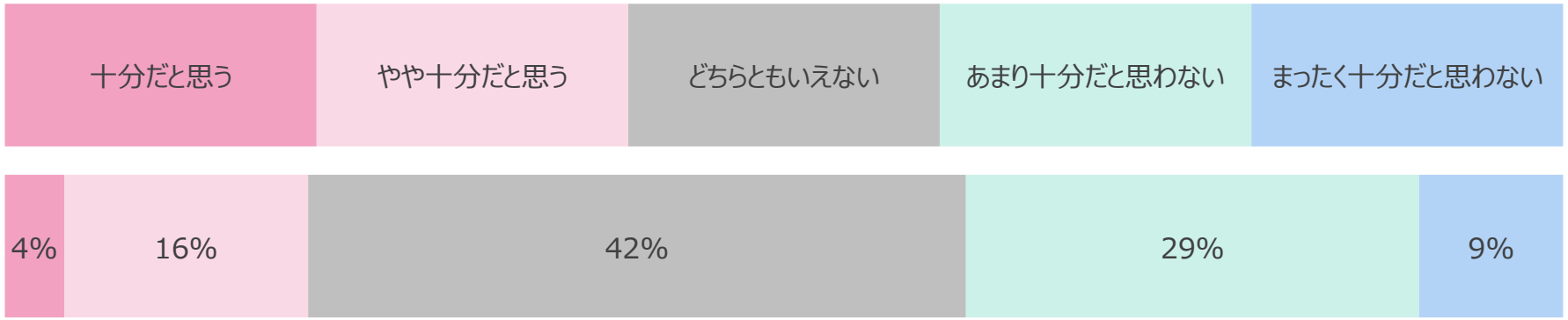
FAでは、優先席付近での威圧的な言動やベビーカーへの接触などの実体験が挙げられた。また、実際にトラブルを経験していなくても、「迷惑をかけるかもしれない」という不安から利用を控える様子もうかがえた。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑰公共交通における周囲の配慮を「十分だと思う」と評価した人は20%にとどまり、肯定的な評価は限定的である。

○「どちらともいえない」が42%と最多で、周囲の反応は人や場面による差が大きく、一様に評価しにくい様子がうかがえる。

公共交通における周囲の配慮について(SA)(n=2,990)

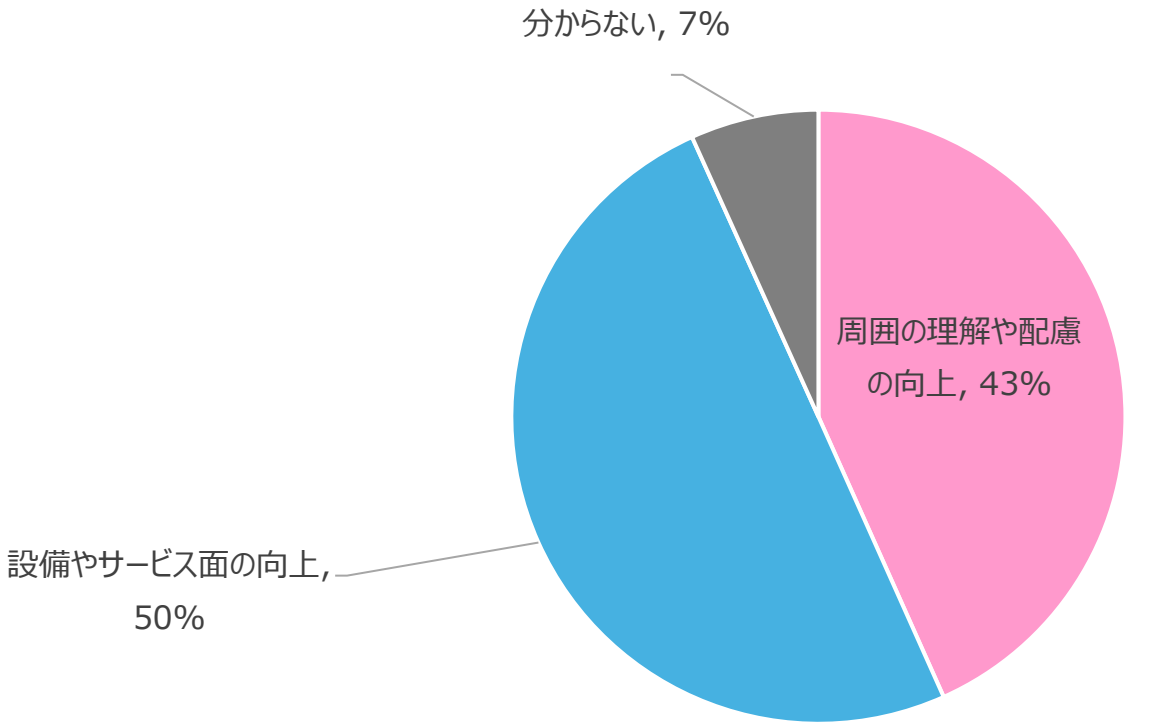



※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑱公共交通の利用しやすさ向上には、設備・サービスの改善に加え、周囲の理解や配慮の向上も重要と認識されている。

公共交通が利用しやすくなるために今後重要なもの(SA)(n=2,990)

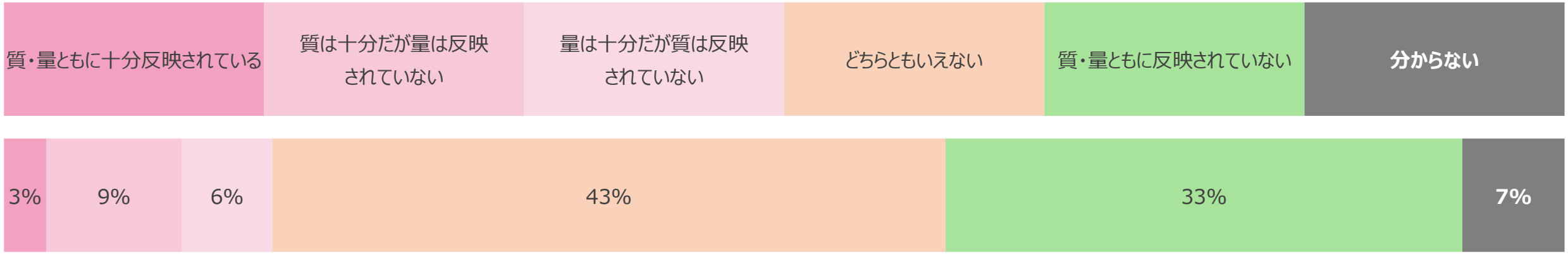



※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑲マタニティ・子育て世帯の意見が公共サービスに十分反映されていると感じる人は少ない(3%)。

マタニティ・子育て世帯の意見が公共サービスに反映されていると感じるか(SA)(n=2,990)

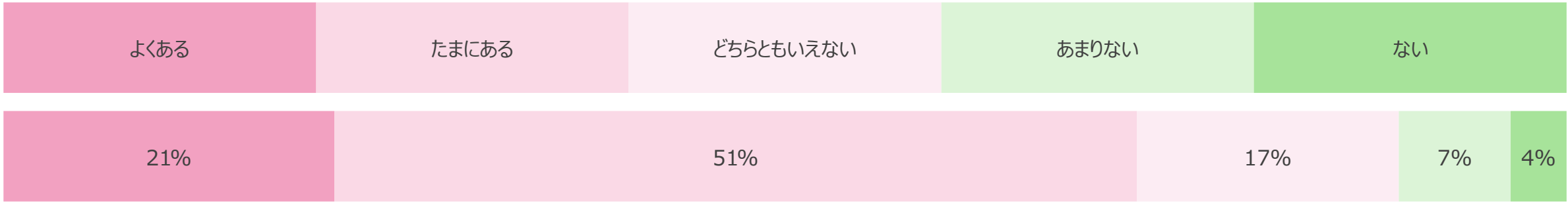



※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ⑳利用者の72%が、「利用してはじめて不便に気づく経験がある」と回答。

妊娠中や、お子さまと一緒に利用する設備について、一見使いやすそうに見えても、利用してみてはじめてその不便さに気づいた経験
(SA)(n=2,990)




※全数

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ㉑周囲の理解や配慮不足への声が多く、専用車両/スペースなど、周囲の配慮に頼らず利用できる環境が求められている。

①周囲の理解・配慮不足

・妊婦が来てもきづかないふりをする人が多すぎる。
・優先席や優先エレベーターが全く優先でない。
・健常者のエレベーター利用を控えてもらう推進をしてほしい。

②専用車両・専用スペースの要望

・子連れ専用車両などがあれば、公共交通機関も気兼ねなく利用できると思う。
・電車の中で子供が少しでも声を発すると周りから見られるため、女性専用があるように子ども専用があってもいいのではないか。
・第一子なので自分が慣れていないため不安なのもあるが、赤ちゃんが泣いてしまったりぐずった時のことを考えると電車や新幹線、飛行機等の公共交通機関を利用する勇気がでない。一部の利用者から心の無い声を浴びせられたりしないか、どうしても周りの目が気になってしまう。子連れ向け車両等が増えると大変ありがたいです。もっと安心して利用できると思います。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ㉒授乳室やおむつ替え設備の不足に加え、清潔感や使い勝手への不満も多く挙げられた。

③授乳室・おむつ替え設備の不足

・授乳室の数を増やして欲しい。待ってることもよくある。
・乗り降りのすくない駅であっても授乳室は用意してほしいです。電車の中でどうしても泣き止まず授乳したくて一旦駅を降りたのですが授乳室がなく次の電車を待って主要駅まで行って授乳ができました。それまで子供はずっと泣いていたのでかわいそうでした。

④清潔感への要望

・オムツ交換台とか綺麗な所は綺麗だけど汚い所があって入ろうとしたけど辞めたことがある。
・おむつ替え台があっても清潔感がなく使用したくない
・特に公共交通機関ではおむつ替え台やトイレ内の設備が設置当初のままで古く、清潔感に欠ける。安全面でも不安がある。何年かおきに交換してほしいと思う。

⑤トイレの使い勝手への要望

・腰座り前の子供を連れて1人で出かけた時、子供の置き場所に困ることがあった。
・トイレ個室内に子供を座らせる椅子がないことがとても多く、トイレを我慢することがよくある。
・ベビーカーごと入れるトイレがもっと必要。

**⇒単に設備を設置するだけでなく、実際の利用シーンを踏まえた設計や維持管理が求められている。**

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.

## ㉓当事者に必要な情報が分かりやすく提供されることに加え、利用者の声を継続的に反映する仕組みが求められている。

⑥情報提供不足

・ホームページなどに赤ちゃんルームやオムツ交換の場所を写真でのせてほしい。
・もっと情報が公開されているだけでも変わると思います。
・ベビーカーや車椅子での移動ルートが簡単に分かるサイト。

⑦利用者目線で設計してほしい

・実際の利用者に意見を求めて反映する事。
・当事者でないと分からないことはたくさんあると思うので、工事する時点で経験者とその時の子育て世帯の意見を取り入れてほしい。
・設備の設計者は子育てしている人の視線を踏まえて設計してほしい。
・実際に使って、不便さがあればすぐに改修工事してほしい。

Copyright©2026 Akachan Honpo Co.,Ltd.